

アルミフロント取扱店の皆様へ

はじめに

2018年9月の台風第21号で、四国や近畿地方で猛烈な風（大阪市内：最大瞬間風速47.4m/s）が吹き、大きな被害をもたらした事は皆様のご記憶にも残っている事と思います。

それらの被害の中で、建築物等被害においてアルミフロント商品の脱落・転倒が確認されました。そのため、このたびその事例と想定される要因をまとめましたのでご連絡いたします。

今後もより安全で快適な商品の供給のために本内容を再認識していただき、正しい製品の供給、販売をお願いいたします。

アルミフロント商品の脱落・転倒事例



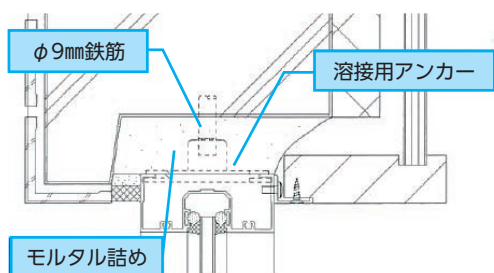
国土交通省国土技術政策総合研究所・国立研究開発法人建築研究所資料
「平成30年台風第21号に伴う強風による建築物等被害現地調査報告（速報）」より転載

想定される要因

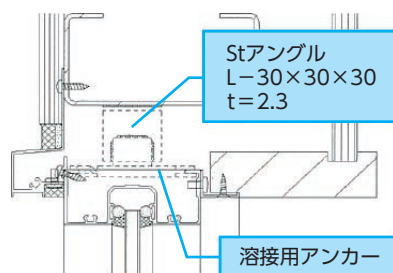
アンカー部の施工不良が要因の一つと想定されます。

アンカー部の施工方法については、下図を参考にしてくださいようお願いします。

● 湿式工法（鉄筋溶接）



● 乾式工法（アングル溶接）



※昨今の異常気象による予想以上の強風、突風の発生が観測されており、方立の見込みも強風対策の観点から、より強度の高い方立を推奨します。以下のリーフレットでは、施工における注意点や耐風圧強度などについて掲載しております。（一社）日本サッシ協会のホームページでご覧いただくことができますのでご利用ください。

<http://www.jsma.or.jp/Top/Useforconstructionrelation/tabid/221/Default.aspx>

